

新松江赤十字病院の定礎式を挙げるに当たり、日本赤十字社島根県支部長として、一言ご挨拶申し上げます。

松江赤十字病院は、公的病院として、県東部地域の医療において中核的な役割を果たしておりますが、平成17年にその医療機能を一層、充実・強化するために、日本赤十字社として新病院の建設と最新鋭の医療機器の導入などを行うこととなりました。

この計画に対して、県も一定の資金的支援を行うこととなりました。

建設工事は、平成19年3月に始まり、平成22年3月にまず高層棟が完成し、開業することとなりました。

そして、今年6月15日には低層棟も開業することとなります。

これにより、病院機能としては、実質的に全館での開業を迎えることとなりました。

また、高層棟に整備された屋上ヘリポートも、この6月から運用を開始する予定であります。

今後、旧本館の解体工事等を行い、来年4月末に全ての工事が終了する予定であります。

今般の工事は、これまでの医療機能を維持しながらの現地での建替整備でありまして、この難しい工事を担当された関係の皆様のご尽力に対しまして、厚く御礼申し上げます次第であります。

新病院の特色を若干申し上げますと、第一に、専門的ながん治療や救急患者の受け入れ体制の整備など、高度で専門的な医療サービスを県民の方々に提供することができるようになります。

第二に、模擬病室を設け臨床現場と同じ環境で実習ができるなど、医師・看護師の研修機能を充実しております。

第三に、災害時における医療拠点としても、十分、活用できるよう整備しております。

今後とも、私どもとして医療の充実に一所懸命、組んで参りますので、皆様方のご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

本日は誠にありがとうございました。